



令和6年度 富山発達障害研究会 症例検討会・情報交換会



富山県は全国的にみて地震が少ない県と考えられてきました。実際に1974年～2023年の50年間に富山県で震度4以上を観測した地震は8回と全国で最少でした（気象庁震度データベースより）。しかし、令和6年1月1日に発生した能登半島地震では、県内で観測史上最大の震度5強を観測し、津波警報が発表されるなど、これまでに経験したことのない大規模な災害となりました。日本ではどこであろうと災害に備えておく必要性を強く意識させられました。

今年度、富山発達障害研究会では、発達障害児・者、および保護者・支援者は震災に対してどのように備えておくべきか、参加者の皆様と考えていきたいと思ひます。

日時：令和6年11月24日（日）14:00～16:30

会場：対面 + Zoomによるオンライン配信（要事前申し込み）

～発達障害児・者と震災～

震災時にどのような備えが必要か

（14:00～14:10）

開会あいさつ 森 昭憲氏 富山県リハビリテーション病院・こども支援センター
企画説明・司会 山下委希子氏 富山県公認心理師協会

第1部（14:10～15:10）

I. 「能登半島地震での医療状況」

登坂 由香氏 七尾松原病院

II. 「能登半島地震での発達障害児・者の状況と 支援機関巡回の中で感じたこと」

瀬戸 美津子氏 発達障害者支援センター パース石川県発達障害児者地域支援マネージャー

第2部（15:15～16:30）

I. 「保護者・支援者へのアンケート調査より」

水野 カオル氏 一般社団法人Ponteとやま

II. 「参加者とのディスカッション」

ファシリテーター 岡本 久子氏 社会福祉法人くるみ
水野 カオル氏 一般社団法人Ponteとやま

閉会・まとめ 榎戸 芙佐子氏 医療法人社団 和敬会 谷野呉山病院

参加対象：発達障がい児・者の支援者（公的民間は問いませんが守秘義務を負える方）

会場定員：80名、オンライン参加定員：300名

参加費：1000円 申し込みは、Peatixのウェブサイトを通じてチケットを入手していただきます。（10月1日より参加登録開始）

主催：富山発達障害研究会 [代表：森 昭憲（富山県リハビリテーション病院・こども支援センター、副代表：宮一志（富山大学教育学部）]

後援：富山県（予定）、富山県教育委員会（予定）

会場：富山大学五福キャンパス 341教室（Peatix地図をご参照ください）

【Peatixによる参加登録方法】(10月1日より登録可能です)

※参加申し込みは、11月23日(土)22時をもって締め切ります

本研究会は、会場参加、オンライン参加ともにPeatixによる参加登録が必要です。

<https://toyamahattatu2024.peatix.com>



パソコン,もしくはスマートフォンより,上記アドレス,もしくはQRコードにアクセスして参加登録をお願いします。

参加登録にあたってPeatixのアカウントが必要です。初めての方は, Peatixの新規アカウントの作成(お名前,メールアドレス※,パスワード)をお願いいたします。

※オンライン参加の方は当日アクセスするメールアドレスをご登録ください。